

CBAP®認定 受験体験記

(株) 富士ゼロックス総合教育研究所

伊藤 衡

以下、約1年間にわたるCBAP®受験の顛末をまとめる。数回にわたる失敗の経験が、今後受験を志す方に少しでもご参考になれば幸いである。

初めての受験出願

最初に出願したのは2009年4月。きっかけは転職をしてBA関連のコンサルティングをすることになったという単純な理由からだ。PMP®の出願申請と比較すると、最も大きな違いは、出願だけで125ドルが必要であること、そして2名の推薦者が必要なことである。私の場合、転職して間もなかったため、昔の上司と同僚に推薦をお願いした。2名の推薦者にはInternational Institute of Business Analysis (IIBA®) 本部のWebサイトでいくつかの英語の質問に答えてもらうことになる。もちろんその内容は推薦者以外には秘匿である。

出願申請マニュアルである『CBAP®ハンドブック』を熟読し、すべての入力項目が要件を満たしていることを確認して、4月17日にオンラインで出願を提出する。出願提出を完了すると21日営業日以内に結果が返答されるというメッセージが表示されるが、実際に評価結果を受け取ったのは1か月以上たった5月27日、結果は以下の2つの理由で「却下」であった。

1) In your application, you submitted a total of 7580 BA work experience hours. Based on the information outlined in the Business Analysis Body of Knowledge (BABOK®) v1.6, we have deducted hours for non-BA experience in your project information. This brought your valid BA hours down to 6900.32 hours. Therefore, the Work Experience section did not meet the requirements of 7500 hours in the last 10 years.

2) The hours for the following course(s): Managing Project you submitted does not qualify because the course is not in line with BABOK® v1.6. Therefore, the Professional Development section did not meet the requirement of 21 hours in the last 4 years.

【参考訳】

1)7580時間のBA業務経験を入力いただきましたが、BABOK®1.6に基づきBA業務に該当しないと思われる時間を差し引いた結果、6900.32時間になりました。これでは、過去10年間に7500時間以上のBA経験の条件を満たしません。

2)入力いただいた“Managing Project”のコースは、BABOK®1.6の内容に沿っていないので無効です。これでは、過去4年間に21時間以上のBA関連コース受講の条件を満たしません。

2度目の出願

2つ目の理由はともかく1つ目の理由については納得がいかず、IIBA®のホームページからAppeal Form(異議申し立て書)をダウンロードして、その日のうちに不服点をまとめて提出した。しかし6月10日に、異議申し立てを却下する旨のメールが届いた。

事前の十分な説明もなく業務経験の時間数を勝手に間引きされた上に、出願料125ドルを徴収されることにどうしても納得がいかず、その後も粘り強くメールのやり取りを続けた。その結果、どうにか無償の再出願の許可

を取り付けることができた。

今度は、業務経験を7,948時間まで増やし、2)で指摘された研修受講歴も、それまでに受講したBA関連コースに修正して6月26日に再出願を試みた。

今度は間違いなからうと信じていたが、7月14日に届いた結果はやはりNGだった。理由は上記の1)と同じで、業務経験が7,430.51時間まで間引かれており、規定にわずか70時間足りないという結果だった。

3度目の出願

さすがにこの結果には参った。しかも、再出願するには3か月待たなければいけないという。「これでは金の無駄だ」と諦めかけたが、3か月の間に頭を冷やし、再度125ドルを支払い12月3日に再申請を試みた。

以前の上司と同僚に再度推薦のお願いをするのは忍びなく、今回は現職の同僚と、仕事上お世話になっている知人に推薦者になってもらった。前回は7年前ぐらゐまで遡って書いた業務経験を、さらに10年前まで遡り、業務経験8,452時間で提出。しかし、暮れも押し迫った12月30日に戻ってきたメールは、またもや「却下」だった。

実は、このときの原因は自分自身のケアレスミスだった。本来はBAの業務経験として対象にならないためチェックしてはいけない項目にも、すべてチェックを入れて提出してしまっていたのだ。その結果、前回よりさらに多く6359.76時間まで間引きされてしまったのである。

いずれにしても「後悔先に立たず」、また125ドルが無駄になり、3か月待たされる羽目になった。

4度目の正直

普通なら、いい加減諦めるところだろうが、この時点では、もはや業務上のミッションとしてCBAP®の取得が必須となっていた。今回は、カナダで2月にCBAP®を取得したばかりの友人(彼も一度出願を却下されていた)にもアドバイスを受けて、業務経験時間の内訳をExcelシートにまとめてダブル、トリプルチェックをした。

3月28日に4回目の出願をおこない、また1か月以上待たされるかと思いきや、今回はあっさりと4月7日に“Approval”(承認)のメールが届いた。

Dear Ko,

On behalf of the IIBA® Certification Body, it is our pleasure to inform you that your online application to sit for the Certified Business Analysis Professional (CBAP®) exam has been approved.

【参考訳】

CBAP®認定試験のオンライン出願申請が承認されたことをIIBA®認定機関に代わり喜んでここにお知らせいたします。

受験手続き

Approvalメールの後にある受験手続きを読むと、IIBA®のWebサイトから「Exam Fee Form」をダウンロードして、それと受験料(会員価格325ドル)の郵便小為替をアメリカまで郵送すると書いてある。IIBA®の会費や出願料の振込みはクレジットカードでできるのに、受験料だけ郵便小為替とはまったく理解できないシステムだが、とにかく翌日(4月8日)郵便局に行き、郵便小為替を購入し、別途2,000円の国際郵便料金を支払って郵送を済ませた。それから約1週間後、4月16日に以下のメールが届いた。

IIBA® CBAP® Eligibility Notice

To: KO ITO

Date: 4/16/2010

Congratulations! Castle Worldwide, Inc. is pleased to announce that you are now ready to schedule your Certified Business Analysis Professional (CBAP®).

【参考訳】

おめでとうございます。Castle Worldwide 社は、あなたの CBAP®試験の受験準備が整ったことを喜んでここにお知らせいたします。

さっそく、試験実施を請け負っている Castle Worldwide 社の Web サイトで受験手続きを行うが、日程を選択するポップアップメニューでは「5 月 30 日」しか表示されない。仕方なくこの日を選択して受験手続きを済ませた。

ところが、手続き完了後にすぐ送付されるという確認の e-mail がいつまでたっても届かない。何度か Castle Worldwide 社にメールを送るが、まったく反応がない。不安になり、受験会場に指定されたテンプル大学の試験センターに電話をして、自分の名前が登録されているかどうかを問い合わせた。電話に出た担当の方が親切に対応をしてくれて、ひとまず受験できることが確認できた。

受験準備

受験準備では、仕事上の役得で ESI 社の CBAP®対策教材を入手し、テストに備えることができた。この教材には 150 問の模擬試験が 3 セットあり、解答集にはそれぞれ BABOK®の該当ページと解説がある。この 3 セットの模擬試験をおこなった後、すべての問題について BABOK®の該当箇所にマーカーを引いて内容を確認した。450 問についてこの作業をすると、BABOK®のほぼすべてのページにマーカーが引かれることになる。

試験問題そのものは、BABOK®で使われる用語の基本的な概念と知識エリアの構成を理解していれば、常識レベルの推論で 6 割程度は正解を得られる内容だった。それでも 2 割程度は、選択に迷う問題がある。現状では合格ラインが何点なのか情報がないのでわからないが、PMP®と同様に模擬試験で 8 割程度の正解が得られるレベルまで到達していればまずは安心だろう。

試験当日

試験当日は、いつも通勤している六本木一丁目の隣、南北線の麻布十番駅で降りて、試験会場のテンプル大学(といっても通常のオフィスビルの 1 フロア)に向かう。12 時過ぎに現地に着くと、昼休み中らしく誰もいなかった。受付の前のベンチで自習をしながら待つ。

しばらくすると試験センターの人が来て、40 分から受付をするということで教室に案内してくれた。教室では年配の紳士が何やら英語の分厚いドキュメントを見て受験準備をしていたが、CBAP®の受験者でないことは明らかだったので声はかけなかった。時間になると、パスポートによる本人確認後、件の老紳士や外人を含め他の数人の受験生と一緒に別の教室に案内された。

試験センターの人がノート PC を使って無線 LAN 経由で Castle Worldwide 社の Web サイトにアクセスし、アクセスコードとパスワードを入力してくれる。その後、個人情報を確認して試験開始ボタンをクリックすると、いく

つかの受験上の宣言のような文章が表示される。チェックを入れてテキストボックスに“`I attest`”と入力して Submit すると、試験が始まった。

試験開始

ここからは、問題を読み、解答の選択肢にチェックを入れて、右矢印ボタンをクリック、という操作を延々と150回繰り返すだけである。問題文は思ったより短い文章で、比較的良いペースで解答を進められた。数問答えたところで、メモ用紙と鉛筆を渡されていたことを思い出し、知識エリアと各タスクを書き出して頭の整理をした。

ちょうど半分くらい解答したあたりで集中力が途切れ、試しにフラグ設定ボタン(いわゆるブックマーク機能)をクリックした瞬間、サーバーエラーが出てコネクションが切れた。すぐに試験センターの人に再接続してもらい、無事に続きから再開できたが、試験中に余計な操作はしないに限るということだろう。

試験終了

最後のほうにいくつか長文問題が出題されて時間が気になったが、試験時間の3時間半を5分残して、全問解答終了。Submit ボタンが無効になったままなので、恐る恐る左矢印ボタンをクリックして1つ前の問題に戻ると、Submit ボタンが有効になった。見直しをする元気もなくそのまま提出。簡単なアンケート画面が表示され、それを提出すると、すぐに結果が表示された。

表示は、合格を告げる短い文書と、後日認定証が郵送される旨を伝えるだけで、3時間半も頑張ったわりには、あまりに淡白なフィードバックである。回りを見回すと、最初2、3名いた他の受験者はいつの間にか皆退出済みで、PCも片付けられていた。テストセンターの方に終了を告げると、特に合格を示す印刷物もないということなので、そのまま荷物を持って試験センターを後にした。

(2010年6月3日)